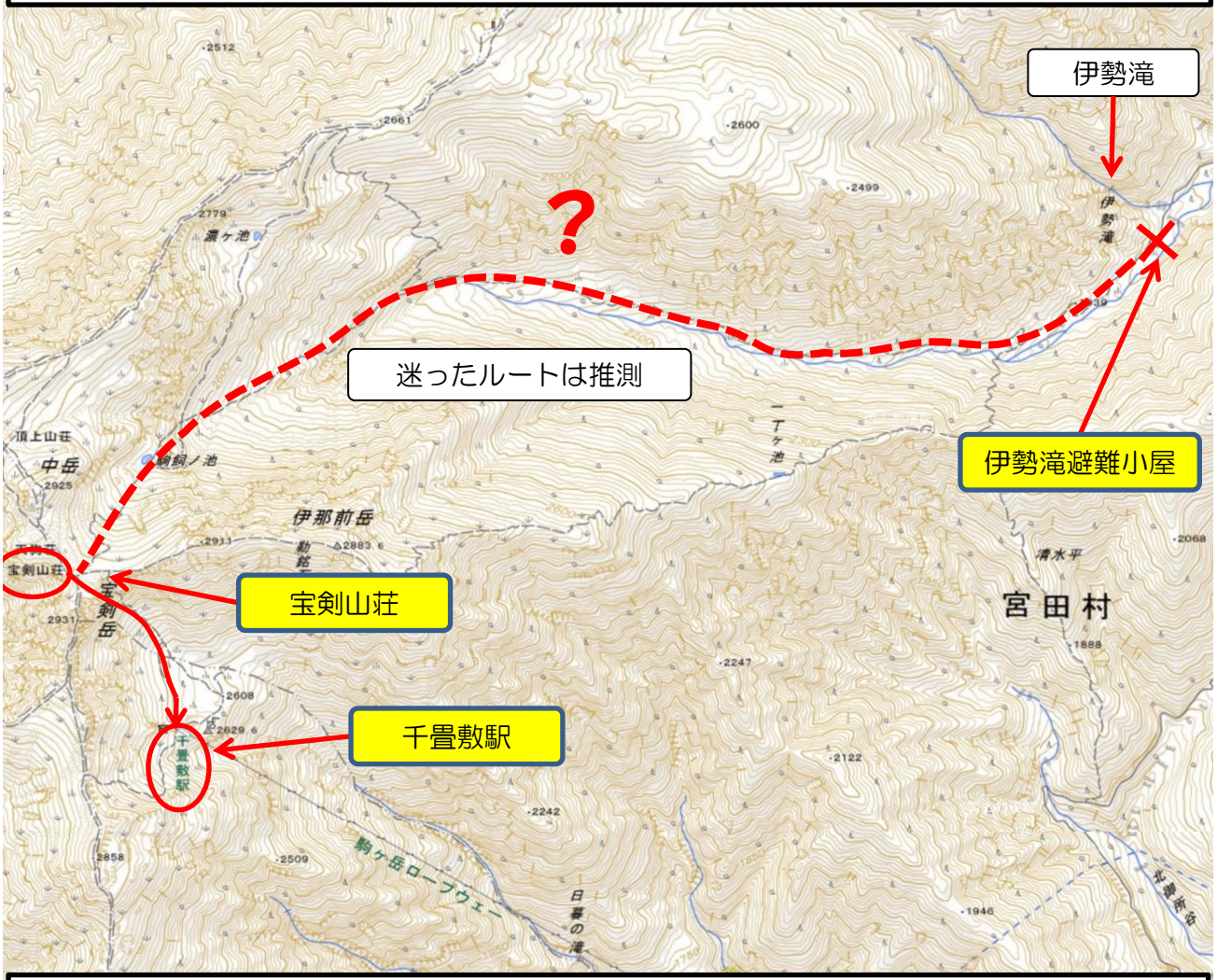
宝剣岳遭難（2022年12月）

宝剣山荘に宿泊した男性（47歳）が、千畳敷へ下山する予定が道迷いをする。翌日から捜索が行なわれ、捜索4日目に県警ヘリが伊勢滝避難小屋近くで男性を発見、無事救助された。



解説

男性は乗越浄土から千畳敷へ下る予定でしたが、方角を誤って黒川源頭の斜面を下ってしまったのでしょう。過去に何度も道迷い遭難が発生している場所です。

4日の現地は風雪のような天候だったと推測されます。地図を見て慎重に進行方向を判断しなくてはなりませんが、男性は地図アプリの入っていたスマートフォンを、途中で紛失してしまったと言っています。現在は印刷地図を持たずに、スマホの地図アプリを使っている人も多いと思います。その場合、スマホが使えなくなると致命的な状況に陥ります。予備のスマホを持つか、緊急時用の紙地図（印刷地図）が必要です。また、予備のバッテリーも必須です。男性は迷った先に幸運にも避難小屋があったので、4日間命をつなぐことができました。（HP参照）

冬山では、方向感覚が風雪によって狂う時が多々あります。今回の事例も全く違う方向に下山しています。皆さん、コンパスは使えますか？コンパス操作を覚えることは難しくありません。私が開催する講習会ではコンパスの使い方は皆さん半日でマスターしています。地図アプリは、雪山では低温のため使えないことがあります。私もスマホが使えない経験をしたことがあります。基本的な知識や技術は、いざという時に心強いアイテムになります。